



三好ジオパーク構想看板整備計画【第 1 期】

令和 6 年 5 月

三好ジオパーク構想推進協議会

目 次

第1 背 景	1
第2 目 的	1
第3 方 針	1
1. 表示について	1
(1) 統一感のあるデザイン	
(2) 視認性と可読性に配慮	
2. 整備について	2
(1) 設置場所の土地所有者（管理者）に対して	
(2) 持続可能性を持った看板	
(3) 安全への配慮	
(4) 景観への配慮	
第4 整備計画	3
1. 看板の種類	3
(1) ウェルカムサイン	
(2) 入口看板	
(3) 概要説明看板	
(4) サイト等説明看板	
(5) サイト等名称表示標柱	
(6) 共架プレート・シール	
2. 看板のサイズ	4
3. 看板設置予定場所	4
(1) ウェルカムサイン	
(2) 入口看板	

(3) 概要説明看板	
(4) サイト等説明看板	
(5) サイト等名称表示標柱	
(6) 共架プレート・シール	
4. 看板のデザイン	5
(1) ウェルカムサイン	
(2) 入口看板	
(3) 概要説明看板	
(4) サイト等説明看板	
(5) サイト等名称表示標柱	
(6) 共架プレート・シール	
5. 整備スケジュール	9
6. 予算措置	10
資料1 ウェルカムサイン・入口看板・概要説明看板 配置(案)	11
資料2 サイト等説明【説明看板・名称表示標柱・共架プレート等】(案)	12
資料3 共架する既設看板(案)	15

第1 背 景

三好ジオパーク構想エリアは徳島県西部の三好市と東みよし町からなり、面積が843.9㎢と広大である。その広大な面積の中にジオサイト、カルチュラルサイト、エコサイトと、サイトとは別の価値づけをした「景観・口頭伝承・無形文化」があり、また三好ジオパーク構想を語る上でかかせない所を見るビューポイントがある。

現在ジオパークにおける案内標識やサイト等の解説板といった看板はほとんど整備されておらず、地域住民や来訪者に向けての視認性や情報提供が希薄な状況にある。

第2 目 的

現在、三好ジオパーク構想として地域住民や来訪者に対して、三好のジオストーリーやその価値などの情報を伝えるツールのひとつである看板（ウェルカムサインやサイト等の解説板など）の整備はほとんどできておらず、地域住民に対しての啓発や来訪者の受入体制が整っているとはいえない。

また、サイト等に指定している箇所は、文化財に指定されていたり既に観光地となっている箇所も多く、文化財や観光案内の看板が整備されている箇所も多々あり、三好ジオパーク構想として新たに看板を整備する場合に、看板が乱立し景観に悪影響を及ぼしてしまう懸念もある。

三好ジオパーク構想として、景観に最大限配慮しつつもジオパークとしての視認性を高めていくこと、三好の大地の価値や素晴らしさ面白さなどを伝え保全をして未来へと繋いでいく意識を醸成していく為に、その情報源となる看板を計画的に整備することを目的に本計画を策定する。

第3 方 針

三好ジオパーク構想の看板整備にあたっての方針は以下のとおりとする。

1. 表示について

(1) 統一感のあるデザイン

看板のデザインは、地域住民や来訪者が各看板を見た際に「三好ジオパーク構想の看板」であることを容易に判読できるように統一感を持たせたデザインとする。

また、看板の大枠（フォント、色調同種看板のレイアウトやサイズなど）は可能な限り揃えるものとする。

（２）視認性と可読性に配慮

看板は、子どもから高齢者、外国人といった多様な人が利用することを想定して、容易に理解できる内容や表示方法を取るものとする。

- ① 説明文は専門用語を可能な限り避けた簡単明瞭な文章にする。
- ② 写真や絵、図などを有効的に活用して説明文を補足する。
- ③ 多言語で表示する。（基本は日本語・英語）

2. 整備について

（１）設置場所の土地所有者（管理者）に対して

看板整備にあたっては、設置場所の土地所有者や管理者に対して、設置する看板の趣旨や整備内容などを十分に説明し、全ての事項を理解してもらい許諾を受けたうえで整備をおこなうものとする。

（２）持続可能性を持った看板

看板の整備には莫大な費用が必要であり、また経年劣化による修理や表示内容の修正などに伴う盤面更新など維持費用も必要である。看板が持続的に掲示できるように、整備費用並びに維持費用の削減が見込める工夫をするものとする。

- ① 骨格となる部分は耐用年数の長い素材を用いて長寿命化を図る。
- ② 盤面は容易で安価に更新ができる構造とする。
- ③ 利用者数の多寡やサイト等の性質により、整備の可否や看板の規格（サイズや形式）などを検討し、整備費用の抑制を図る。

（３）安全への配慮

看板の利用者を危険に曝さないように、看板の整備場所は転倒や転落などの事故が起こり難い場所を選定するものとする。

- ① 地盤凹凸が大きく転倒する恐れのある場所は避ける。
- ② 転落防止柵が無い崖地付近などへの設置は避ける。

（４）景観への配慮

三好ジオパーク構想エリアは、自然景観や歴史的景観に優れた場所が多く、それらの中に多くのサイトが設定されている。看板の整備にあたっては地域住民や来訪者の目に留まりつつも、景観に十分配慮した方法を取るものとする。

- ① 看板は景観に配慮した意匠を施す。
- ② 看板が乱立して景観が阻害されないように配慮する。
- ③ 既設看板（文化財・観光など）が設置されている場合は以下のとおりとする。

- 1) 既設看板管理者の許可を得て、既設看板フレーム等に三好ジオパーク構想 Web サイトへ誘導するプレート又はシール（ロゴマーク・サイト名・QR コードなどを表示）を共架（貼付）する。
- 2) 既設看板の更新時には、大地との結びつきや関連性などジオストーリーの要素を含めた内容に更新してもらうべく、既設看板管理者と調整をしておく。
- 3) 上記 1)2)の対応が困難な場合は、景観に最大限に配慮した上で看板を設置する。

第 4 整備計画

第 1 期で整備する「三好ジオパーク構想看板」の整備計画は以下のとおりとする。

1. 看板の種類

整備する看板の種類は以下のとおりとする。

（1）ウエルカムサイン

地域住民や来訪者が三好ジオパーク構想内に居ることが理解できるものであり、また来訪者に対しては歓迎を示した看板。

（2）入口看板

道路管理者が設置する道路案内標識に準じたもので、地域住民や来訪者が三好ジオパーク構想エリア内に入ったことが理解できる看板。

（3）概要説明看板

三好ジオパーク構想（看板設置場所周辺）の概要を以下のテーマで説明した看板

- ① 池田のまちなみと折れ曲がる吉野川【JR 阿波池田駅】
- ② 大歩危小歩危はどうしてできた？【道の駅大歩危】
- ③ 秘境風景 ～斜めの土地にある集落のヒミツ～【道の駅にしいや】
- ④ 吉野川北岸の風景のヒミツ 【道の駅三野】
- ⑤ 古代から現在まで！吉野川と人、悠久のストーリー【吉野川ハイウェイアス（予定）】
- ⑥ 四国の背骨は別世界【剣山登山口：見ノ越駐車場（予定）】

（4）サイト等説明看板

サイト等に関する価値やジオストーリーなどが理解できる看板。

（5）サイト等の名称表示標柱

サイト等の名称やロゴマーク、Web の QR コードを掲示した標柱

※サイト等の説明は Web へ委ねる

(6) 共架プレート・シール

サイト等の名称やロゴマーク、Web の QR コードを掲示したプレート・シール

※サイト等の説明は Web へ委ねる

2. 看板のサイズ

整備する看板のサイズは、設置場所の環境や看板に記載する内容等を十分に考慮した上で、土地所有者又は管理者と協議し同意を得た上で決定するものとする。

3. 看板設置予定場所

(1) ウェルカムサイン

①設置予定場所 ※資料 1 のとおり

三好市池田町ヤマダ

(三好市役所観光課管理看板フレームに共架)

②設置予定場所の概要

三好ジオパーク構想エリアの中心的位置にあり、エリア内に唯一ある高速道路のインター 注)「井川池田」の近隣にある。また、香川県と高知県を結ぶ一般国道(直轄)32号と徳島県と愛媛県を結ぶ一般国道(直轄)192号の重用区間であるため、四国の交通要所と言って過言ではない場所である。

注) その他にスマートインターは1か所有り「吉野川スマート」

(2) 入口看板

①設置予定場所

資料 1 のとおり

②設置予定場所の概要

来訪者が三好ジオパーク構想エリアへ訪れる際に一般的に利用する、高速道路、一般国道(直轄)32号・192号、県道12号のエリア境界付近にある道路案内標識への設置を予定している。

現在、道路管理者に対して設置要望をしている段階である。

(3) 概要説明看板

①設置箇所 ※資料 1 のとおり

○設置済み(4カ所) ※令和6年4月1日現在

JR 阿波池田駅、道の駅大歩危、道の駅にしいや、道の駅三野

○設置予定

吉野川ハイウェイオアシス(令和6年度)

見ノ越駐車場(令和7年度)

②設置場所（予定含む）の概要

JR 阿波池田駅は、エリア内唯一の有人駅であり三好ジオパーク構想エリアの玄関口にあたる。

道の駅並びに吉野川ハイウェイオアシスは、エリア外からの来訪者のみならず地域住民も利用する施設である。

見ノ越駐車場は、剣山登山をはじめ剣山系を縦走する登山者が利用する場所である。

（４）サイト等説明看板

設置個所は資料２の箇所を予定している

（５）サイト等の名称表示標柱

設置個所は資料２の箇所を予定している

（６）共架プレート・シール

設置個所は資料２の箇所を予定している

４．看板のデザイン

（１）ウエルカムサイン（レイアウトイメージ）



※サイズは H1000mm×W6000mm を予定

（２）入口看板

道路管理者の規定に合わせたデザインとする。



（参考：室戸ジオパーク入口看板）

①『吉野川北岸の風景のヒミツ』

※サイズは H1200mm×W1700mm

[illegible]

※サイズは H990mm×W1830mm

三好ジオパーク構想へ

Welcome to
Miyoshi Geopark Project Area

ようこそ

動く大地が創った、わたしたちのまち。Our town, shaped by the ever-moving land.

険しすぎる渓谷！ **大歩危・小歩危はどうしてできた？** How Nature Created the Oboke-Koboke Gorge?

地下十数kmでギュ〜っと力を受けてきた「硬い岩石」

大歩危・小歩危の大地を作る「硬い一帯」。その元々の姿は、約1億年前に海底にたまった砂や粘土の層で、プレート運動によって地下十数km付近に運び込まれ、ギュ〜と力を受けて、砂質片岩・レキ質片岩という「硬い一帯」になりました。その後、岩石の地層が深くから持ち上がり、今の大歩危・小歩危の大地を作ることになりました。

"Hard rocks" formed under intense pressure in the depths of ten-thousand meters underground.
"Hard rocks" formed the foundation of the land in Oboke-Koboke Gorge. About one hundred million years ago, conglomerate and sands were deposited on the ocean floor. These materials were later brought to the depths of about 10 kilometers underground due to plate movements. As the plate moved, intense pressure was exerted on the sedimented layers, resulting in the formation of schist rocks, including psammite schist and conglomerate schist. These schist rocks were eventually uplifted from the underground and created the land we now know as Oboke and Koboke Gorge.

断崖絶壁のどき方 How these sheer cliffs were made?

- ① 垂直に割れる「硬い岩石」。Sheer cliffs are split vertically.
- ② 水面に沿って流れる水が断崖を削りだす。Water wears away the cliffs.
- ③ 川底には鋭い石が隠れている。A lot of sharp stones lie at the bottom.

Three geological features making the steep gorge:
Sheer cliff, Oboke-Koboke Gorge. The dynamic scenery was formed by ① "hard rocks" broken vertically, ② land uplift of the Shikoku Mountains, and ③ the flow of the "Yoshinogawa River" with a significant amount of water. This term "toke" in Oboke-Koboke actually means "shear cliff along the river," representing the exact topography that this area has formed.

深淵沿いの植物群
Pond adjacent plant community.
Ponds are scattered in the deep valley. Various plants grow along the ponds. Some are rare species found only in this area.

富れ片岩
Rich schist.
This is a type of schist that contains many minerals. It is known for its rich texture and color.

丹精山造
Danjinsan Mountain.
This mountain is famous for its beautiful autumn foliage. It is a popular spot for hiking and sightseeing.

妖怪伝承
Legend of Yōkai.
There are many legends about yōkai in this area. One legend says that a yōkai lives in the deep valley and comes out at night.

自然遺産
Natural Heritage.
The area is designated as a Natural Heritage site because of its unique landscape and biodiversity.

自然環境保全
Natural Environment Conservation.
We are working to protect the natural environment of this area for future generations.

※サイズは H1200mm×W1700mm

ようこそ

三好ジオパーク構想へ

Welcome to
Miyoshi Geopark Project Area

動く大地が創った、わたしたちのまち。Our town, shaped by the ever-moving land.

秘境風景 ～斜めの土地にある集落のヒミツ～

Unexplored region: Behind stories of villages established on slopes.

ここは西祖谷！
どんな暮らしをしているの？
How do you live in Nishi Iya area?

集落の土台！斜めの土地を生み出したものは？

What formed the slopes on the steep mountain, laying the foundation for villages?

祖谷地区やその周辺では、山の斜面に集落が点在しています。集落のある場所は、周囲の山と比べると比較とて急峻で、傾斜が急な場所です。この傾斜が地形を作ったのは過去に亘って「地すべり」でした。

You will notice that steep slopes are situated on the steep slopes of the mountain around the area. The slope angles where these villages have developed are relatively gentle compared to other parts of the mountain. Interestingly, steep landforms have actively contributed to the formation of the gentle slopes, such as those shown on the left picture.

図1 地すべりによる斜面の形成

図2 地すべりによる斜面の形成

図3 地すべりによる斜面の形成

1 斜面の上での暮らしの利点

Enjoying life on the mountain slopes.

斜面の上の集落(特に高祖谷)は谷と比べて、自然の恵みが豊かです。また、道路開通以前は、尾根沿いの道が利用されていたこと、近くに湧き水が出た所があったことなどによつて、昔から斜面の上での生活が営まれていました。

The villages on the steep slopes, especially those facing south, receive a good amount of sunlight compared to the bottom of the valley. Before the development of roadway infrastructure, local residents traveled along the mountain ridge. The area around the village was also rich in natural resources. Thanks to the fact that there was a hot spring nearby, local residents utilized these natural environments to build their lives on the mountain slope.

2 斜面の上ではどんな食べ物があるの？

Local cuisines on the mountain slopes.

斜面の土地での農業は主に畑作です。小さなじゃがいも、ツバネの雑穀、など栽培する所では茶葉などが栽培されています。このように、斜面の土地では、大地をはじめとする自然環境に合わせた農耕の工夫が見られます。

Field farming is primarily practiced on the mountain slope. A small type of potato and grains such as buckwheat grow well in this environment. The dry climate on the mountain is also conducive to tea leaf cultivation. Local residents have developed tea farming style in harmony with the natural environment of the mountain slope.

世界遺産のある斜面の農耕の風景

世界遺産「瀬田の湍急」の斜面には、古くから茶葉の栽培が行われてきました。この斜面には、茶葉の栽培に適した環境があり、茶葉の栽培が行われてきました。この斜面には、茶葉の栽培に適した環境があり、茶葉の栽培が行われてきました。

3 かずら橋が架けられている場所のヒミツ

The background story of the places where the Kazarabashi Vine Bridge was constructed.

西祖谷のかずら橋は、斜面の集落同士をつなぐ交通路として活用されてきました。サルナシ(別名：シラカズチス)を使って架けられた橋で、江戸時代には橋が川に10本以上の橋が架けられていた記録も残っています。川幅が狭く、対岸に集落がある所に、かずら橋が架けられていました。

In the past, the Kazarabashi Vine Bridge in Nishi Iya played a crucial role as an transportation route connecting villages on the slopes. It was built with Japanese vine (Sternocarya, or Kuzu Root). Historical records reveal the existence of over ten bridges spanning the Iyagawa River in the late 1600s. These bridges were strategically placed where the river narrowed and communities thrived on the opposite bank.

※サイズは H1200mm×W1700mm

⑤『古代から現在まで！吉野川と人、悠久のストーリー』⑥『四国の背骨は別世界』
は上記のデザインに準じたものとする。

(4) サイト等説明看板（レイアウトイメージ）



※デザインは概要説明看板に準じ、説明文に併せてその説明を補足する写真・イラスト等を配置するものとする

(5) サイト等の名称表示標柱（レイアウトイメージ）



（標柱のイメージ）

(6) 共架プレート・シール（レイアウトイメージ）



5. 整備スケジュール

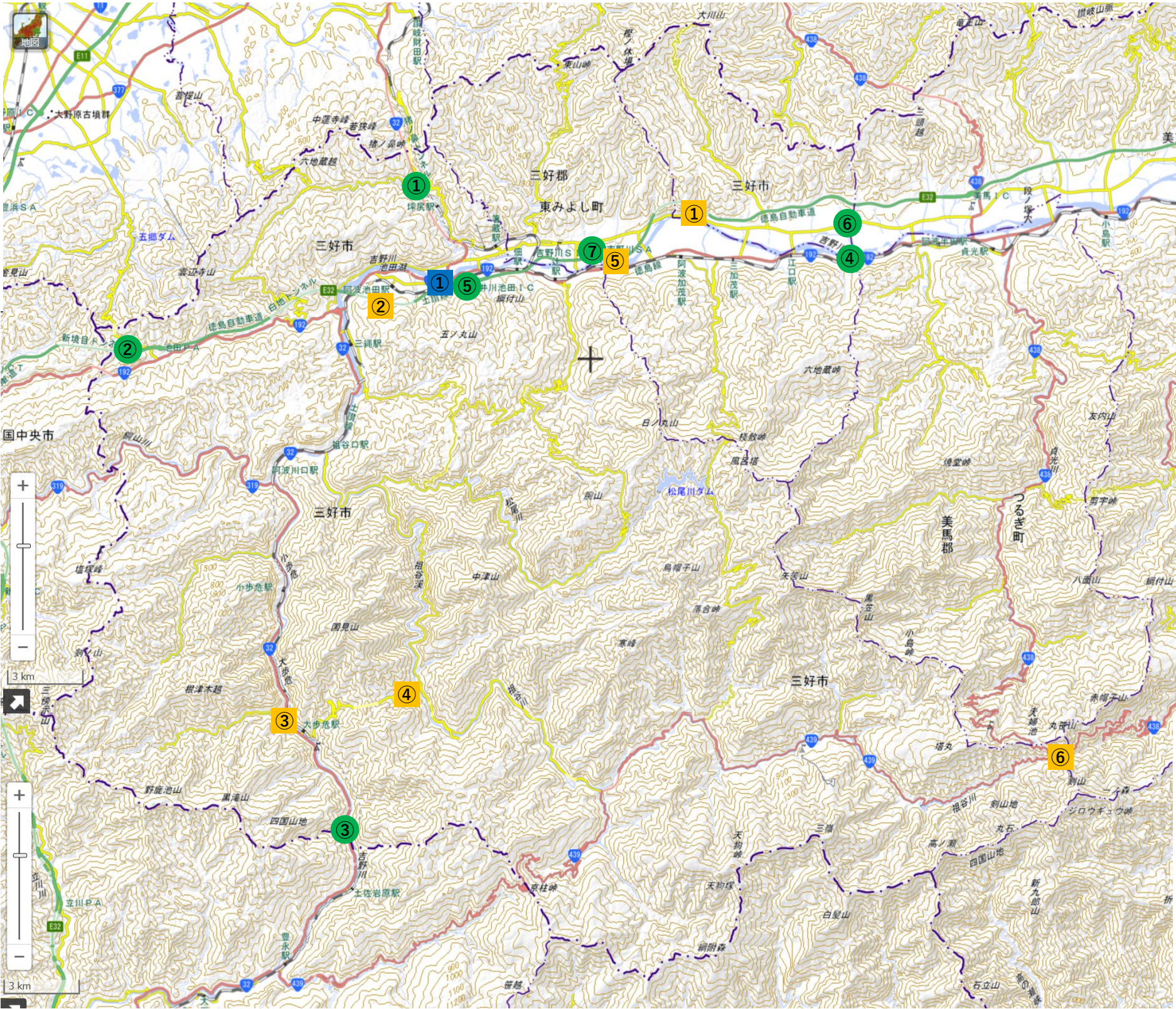
第1期の看板整備は5カ年を目途に完了させるものとする。但し、看板設置場所の土地所有者、管理者、既存看板管理者などとの協議状況によってはこの限りではない。

看板の種類	R5 (過年)	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	合計
(1) ウェルカムサイン		1					1
(2) 入口看板			2	2	2	1	7
(3) 概要説明看板	4	1	1				6
(4) サイト等説明看板		2	3	2	2	2	11
(5) サイト等名称表示標柱				2	4	5	11
(6) 共架プレート・シール		6	8	7			21
合 計	4	10	14	13	8	8	57

6. 予算措置

本整備計画に基づく看板の整備は、三好ジオパーク構想推進協議会の予算で進めていくものとする。その財源としては構成自治体からの補助金を充てるが、今後は国、県等の交付金や補助金の活用も模索する。

◎ウエルカムサイン・入口看板・三好ジオパーク構想概要説明看板 配置（案）



ウエルカムサイン

記号	設置	設置場所	看板の説明概要
	年度		
①	R 6	三好市池田町ヤマダ	来訪者に歓迎を示す内容

入口看板

記号	管理	設置場所	対象となる来訪者
●			
①	国	三好市池田町西山（香川県境）	香川方面からの来訪者
②	国	三好市池田町佐野（愛媛県境）	愛媛方面からの来訪者
③	国	三好市山城下名（高知県境）	高知方面からの来訪者
④	国	東みよし町毛田（つるぎ町境）	つるぎ町方面からの来訪者
⑤	NE	三好市井川町西井川（井川池田IC出口付近）	高速道路利用の来訪者
⑥	県	三好市三野町清水（美馬市境）	美馬市方面からの来訪者
⑦	町	東みよし町足代（吉野川スマートIC出口）	高速道路利用の来訪者

※道路管理者と道路標識への共架に向け協議している

概要説明看板

記号	設置	設置場所	概要説明看板のテーマ
■	年度		
①	R5	道の駅三野	『吉野川北岸の風景のヒミツ』
②	R5	J R阿波池田駅	『カクン折れ曲がる吉野川と池田のまち』
③	R5	道の駅大歩危	『大歩危・小歩危はどうしてできた？』
④	R5	道の駅西祖谷	『秘境風景～斜めの土地にある集落のヒミツ～』
⑤	R6	吉野川ハイウェイオアシス	『古代から現在まで！吉野川と人、悠久のストーリー』
⑥	R7	見ノ越駐車場	『四国の背骨は別世界』

◎サイト等説明【看板・標柱・共架プレート等】の整備(案)

ジオサイト 【全19箇所 三好市エリア:17箇所 東みよし町エリア:2箇所】										
No	分類	サイト名	箇 所	既存看板		土地所有(管理)者	看板の必要性		看板の方向性	
				有・無	管理者		有・無	「無」の場合の理由	新規・共架 ・改修	理由
1	I-1	三名の含レキ片岩	山城町西宇	有	三好市教育委員会	民間	有		新規看板	現地は洪水で水没する場所のため現地への設置は困難 大歩危遊覧船地下駐車場に「三名の含レキ片岩」「背斜構造と微褶曲・石英脈群」「獅子岩」「大歩危の河床植物群落」まとめた移動式看板(大洪水時は浸水の恐れがあるため)を設置 ※「地下駐車場」は3サイトが見られる場所(遊覧船)へ向かう道中になる
2	I-2	祖谷の含レキ片岩	西祖谷山村一字	有	三好市教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『祖谷、三名の含礫片岩』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3.-(4)-③-1)のとお
3	II-1	背斜構造と微褶曲・石英脈群	大歩危・小歩危(吉野川岸壁)	無		民間	有		新規看板	「三名の含レキ片岩」と同じ
4	II-2	獅子岩	大歩危(吉野川岸壁)	無		民間	有		新規看板	「三名の含レキ片岩」と同じ
5	II-3	ひの字溪谷	西祖谷山村田ノ内(ひの字溪谷)	有	徳島県(県道管理)		有		共架 (シール)	看板乱立を避けるため既存看板ヘシール貼付(看板の形状より) ※表示内容は計画第3-3.-(4)-③-1)のとお
6	II-4	善徳・今久保の地すべり地形	西祖谷山村善徳・今久保	無		国土交通省	有		新規看板	夢舞台の砂防堰堤前公園に説明看板(詳細)を設置
7	II-5	有瀬の地すべり地形	西祖谷山村有瀬	無		三好市	有		新規看板	設置場所の活用度合いなどより説明看板(簡易)を新規設置 ※旧有瀬小学校
8	II-6	三嶺の池	東祖谷三嶺	関連看板 「三嶺」	環境省・徳島県		有		共架 (プレート)	現地への設置は困難なため「三嶺」看板へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3.-(4)-③-1)のとお
9	IV-1	池田断層 断層崖	池田町ウエノ-マチ間	無		三好市	有		新規看板	旧船井跡駐車場に説明看板(詳細)を設置
10	IV-2	太刀野の中央構造線	三野町太刀野(道の駅三野)	有	三好市観光戦略課		有		看板改修	既存の中央構造線解説看板の内容が解りにくいため盤面を修正して再設置
11	IV-3	猪鼻道路の中央構造線	池田町州津	有	三好市教育委員会		有		共架 (シール)	看板乱立を避けるため『中央構造線露頭解説看板』ヘシール貼付(看板の形状より) ※表示内容は計画第3-3.-(4)-③-1)のとお
12	V-1	シンヤマの地すべり塊	池田町シンヤマ(八幡神社参道)	無		三好市	有		新規標柱	設置場所の立地条件や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※八幡神社参道(赤線道)
13	V-2	西山の地すべり地形	池田町西山・洞草	無		民間	有		新規看板	設置場所の活用度合いなどより説明看板(簡易)を新規設置 ※西山雲海展望台
14	V-3	井ノ久保の地すべり地形	池田町井ノ久保	無		三好市	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※井ノ久保活性化センター付近
15	V-4	芝生衝上断層	三野町芝生(三野町運動公園東側)	無		三好市	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※三野体育館駐車場東端
16	V-5	王地の扇状地	三野町加茂野宮地区	無		自治会	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※加茂野宮集会所
17	V-6	中西の河成段丘露頭	池田町中西	無		三好市	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※露頭付近の路肩
18	IV-4	和泉層群向斜軸部	東みよし町増川	無		東みよし町	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※旧増川小学校
19	IV-5	加茂の中央構造線露頭	東みよし町加茂	無		国土交通省	無	河川区域内のため看板の設置ができない ※付近に設置してもそこから案内するのは困難		

カルチュラルサイト 【全19箇所 三好市エリア:12箇所 東みよし町エリア:7箇所】										
No	分類	サイト名	箇所	既存看板		土地所有(管理)者	看板の必要性		看板の方向性	
				有・無	管理者		有・無	「無」の場合の理由	新規・共架 ・改修	理由
1	I-1	剣山の御塔石	剣山(大劔神社付近)	無		民間	有		新規標柱	設置場所の立地条件や景観への配慮より「標柱」を新規設置 ※大劔神社境内付近
2	I-2	平谷の治山堰堤群	東祖谷菅生(北岸、塔丸西側斜面)	無		徳島県	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※下流側から堰堤が見れる国道の路肩
3	VI-C-1	池田城跡の石垣	池田町ウエノ	有	三好市教育委員会		有		共架 (シール)	看板乱立を避けるため文化財看板『池田城跡』へシール貼付(看板の形状より) ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
4	VI-C-2	八石城跡	井川町井内西	有	三好市教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『ハツ石城跡』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
5	VI-C-3	箸蔵寺の高灯籠	池田町箸蔵	有	三好市教育委員会		有		共架 (シール)	看板乱立を避けるため文化財看板『箸蔵寺高灯籠』へシール貼付(看板の形状より) ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
6	VI-C-4	落合集落	東祖谷落合	有	三好市教育委員会		有		共架 (シール)	看板乱立を避けるため『落合集落解説看板』へシール貼付(看板の形状より) ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
7	VI-C-5	祖谷の蔓橋	西祖谷山村善徳	有	三好市観光戦略課		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため渡り口にあるかずら橋解説看板へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
8	VI-C-6	五所神社の大スギ	西祖谷山村上吾橋	有	三好市教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『五所神社の大スギ』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
9	VI-C-7	阿佐家住宅	東祖谷阿佐	有	三好市教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『阿佐家住宅』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
10	VI-C-8	徳善家住宅	西祖谷山村徳善	有	三好市教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『徳善家住宅』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
11	VI-C-9	腕山牧場	西祖谷山村・井川町	有	徳島県畜産振興課		有		共架 (シール)	看板乱立を避けるため入口にある案内板へシール貼付(看板の形状より) ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
12	V-C-1	白地湧水	池田町白地井ノ久保	無		徳島県	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※湧水付近の県道路肩
13	VI-C-10	美濃田の淵	東みよし町小山	有	東みよし町教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『美濃田の淵』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
14	VI-C-11	足代東原遺跡	東みよし町足代東原	有	東みよし町教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『足代東原遺跡』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
15	VI-C-12	天橋立神社の浸水記録	東みよし町昼間	無		民間	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※境内入口の階段下付近
16	VI-C-13	加茂の大クス	東みよし町加茂	有	東みよし町教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『加茂の大クス』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
17	VI-C-14	丹田古墳	東みよし町丹田	有	東みよし町教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財注意喚起看板へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
18	VI-C-15	加茂谷の岩陰遺跡一号、二号	東みよし町西庄	有	東みよし町教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『加茂谷川岩陰遺跡群』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
19	VI-C-16	足代城跡のものみのはな	東みよし町足代宮ノ岡	無		民間	有		新規標柱	設置場所の関係や活用度合いなどより「標柱」を新規設置 ※サイト内

エコサイト 【三好市エリア:6箇所】										
No	分類	サイト名	箇所	既存看板		土地所有(管理)者	看板の必要性		看板の方向性	
				有・無	管理者		有・無	「無」の場合の理由	新規・共架	理由
1	VI-E-1	黒沢湿原と周辺森林	池田町漆川	有	三好市教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため教育委員会設置の黒沢湿原の植物案内看板へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
2	VI-E-2	塩塚高原の草原	山城町平野	無		三好市	有		新規	塩塚高原展望台の駐車場に説明看板(詳細)を設置
3	VI-E-3	三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ及びコメツツジ群落	東祖谷	有	三好市教育委員会		有		共架 (プレート)	看板乱立を避けるため文化財看板『三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ及びコメツツジ群落』へプレート共架 ※表示内容は計画第3-3-(4)-③-1)のとおり
4	VI-E-4	大歩危の河床植物群落	大歩危(吉野川岸壁)	無		三好市	有		新規	設置場所の活用度合いなどより説明看板(簡易)を新規設置 ※道の駅大歩危の地下駐車場(遊歩道へ向かう階段付近)
5	VI-E-5	野鹿池山の湿地とその周辺の自然林	山城町上名	有	徳島県		有		新規 (簡易看板)	設置場所の関係や活用度合いなどより説明看板(簡易)を新規設置 ※携帯電話の電波が弱いため共架方式は困難
6	VI-E-6	落合峠のササ原	東祖谷落合	無		林野庁・民間	有		新規 (標柱)	設置場所の立地条件や景観への配慮より「標柱」を新規設置 ※ササ原付近の登山道
ビューポイント 【三好市エリア:2箇所】										
No	分類	サイト名	箇所	既存看板		土地所有(管理)者	看板の必要性		看板の方向性	
				有・無	管理者		有・無	「無」の場合の理由	新規・共架	理由
1		ウマバ展望所(吉野川流路変更・池田のまちなみ等眺望)	池田町白地ウマバ	無		三好市	有		新規 (詳細看板)	展望所に説明看板(詳細)を設置
2		落合集落展望所	東祖谷中上	有	三好市観光戦略課		有		新規 (詳細看板)	展望台に説明看板(詳細)を設置 ※老朽化している既設看板と取替

◎共架する既設看板【プレート】(案)

●ジオサイト

No	分類	サイト名
2	I-2	祖谷の含レキ片岩



No	分類	サイト名
8	II-6	三嶺の池



●カルチュラルサイト

No	分類	サイト名
4	VI-C-2	八石城跡



No	分類	サイト名
7	VI-C-5	祖谷の蔓橋



No	分類	サイト名
8	VI-C-6	五所神社の大スギ



No	分類	サイト名
9	VI-C-7	阿佐家住宅



No	分類	サイト名
10	VI-C-8	徳善家住宅



No	分類	サイト名
13	VI-C-10	美濃田の淵



No	分類	サイト名
14	VI-C-11	足代東原遺跡



No	分類	サイト名
16	VI-C-13	加茂の大クス



No	分類	サイト名
17	VI-C-14	丹田古墳



No	分類	サイト名
18	VI-C-15	加茂谷の岩陰遺跡一号、二号



●エコサイト

No	分類	サイト名
1	VI-E-1	黒沢湿原と周辺森林



No	分類	サイト名
3	VI-E-3	三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ及びコメツツジ群落



◎共架する既設看板【シール】(案)

●ジオサイト

No	分類	サイト名
5	Ⅱ-3	ひの字溪谷



No	分類	サイト名
11	Ⅳ-3	猪鼻道路の中央構造線

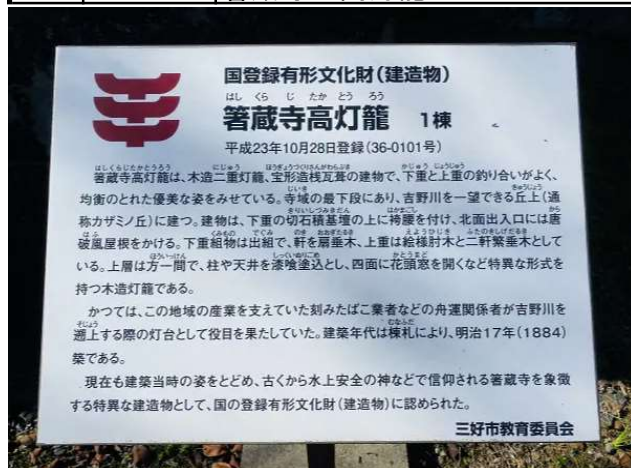


●カルチュラルサイト

No	分類	サイト名
3	Ⅵ-C-1	池田城跡の石垣



No	分類	サイト名
5	Ⅵ-C-3	箸蔵寺の高灯籠



No	分類	サイト名
6	Ⅵ-C-4	落合集落



No	分類	サイト名
11	Ⅵ-C-9	腕山牧場

